

国際ロータリー 第2780地区 横須賀ローターアクト・三浦学苑インターアクト

合同例会 活動報告書

日時：2019年6月1日(土)10:00～12:00

場所：本校会議室

参加者：3年 望月 佐藤 川原 2年 山本 三浦 石田

1年 藤本 松本 斉藤 川崎 高田 川野 谷口 山口 三浦 橋本 野村 長田 堀 吉原

報告者：生徒会 1年 野村晃暉 吉原向希

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 活動の意味と理由

- ①. 横須賀に拠点を持つローターアクトとインターアクトの連携と親睦を深める
- ②. それぞれのクラブの特徴と活動内容を互いに知り合う
- ③. 今後、互いに協力していくための第一歩としての活動

◆ 活動内容

本校のインターアクトクラブが設立したのは2014年の9月です。ローターアクトと合同する活動は過去に数回ありましたが、本校が準備して行う合同例会は今回が初めてになります。そして、今回の開会点鐘は、横須賀ローターアクトクラブ会長と、本校のインターアクトクラブ会長の2人同時に行いました。このことは、とても意味のあることと思います。2つのクラブが合同して1つのことを目指すこと

プログラム

1. 開会点鐘
2. ローターアクトソング斉唱
3. 出席者紹介
4. 会長報告
5. インターアクトクラブ発表
ディスカッション
6. 開会点鐘
7. 昼食 ブルキナファソクイズ

だと考えました。

クラブソングの指揮は5月から副DIRとなった山本さんが務めました。会長報告では各クラブの年間活動報告をしました。その後、本校が推進して行こうと考えているブルキナファソの支援についての経緯と取組み状況を説明した後、ディスカッションに移りました。

最後に閉会点鐘も互いの会長が同時に行い、最後に記念写真を撮って会は終了となりましたが、ローターアクトで残れる人が、私たちと昼食を一緒にしていただけました。この時、1年生を中心に準備したブルキナファソクイズを楽しんで頂きました。



◆ 感想

今回、私はクイズを担当しました。どのようなクイズをつくるのか、どんな発表をするのか、経験がない中で先を見通さなければならないので作業は大変でした。これからも発表の場があれば、シミュレーションの手法を取り入れて企画をしていきたいです。

また、今回ブルキナファソについてローターアクトやロータリーの方々と話して、色々な支援方法があることや高校生だけでなく大人の方々と協力することで支援の輪が広まることになりました。今後、こうした機会を活かし、三浦学苑でも広めていきたいです。



記：生徒会1年 野村晃暉

私たち1年生は、先輩たちがしてきたブルキナファソについての取組みは、この合同例会の準備をすることで共有できたと思います。来校されたロータリーやローターアクトの皆さんにも、今回の私たちの発表やディスカッションを通じてそのことが共有されたのではないかと思います。今後も、「ブルキナファソに学校を建てる。」という私たちの目標の達成を目指して、一つ一つ実現して行こうと考えています。

記：生徒会1年 吉原向希

